

# PROTEAN ARTISTS OF THE TIMES

## 美術家の冒険

### 多面化する表現と手法

1996年9月5日(木) — 11月24日(日)

開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週水曜日 無料観覧日 第2・第4土曜日、11月3日(文化の日)

#### 国立国際美術館

主催 国立国際美術館 協賛 ダイキン工業現代美術振興財団  
協力 (株)堀内カラー、(株)エイ・ティ・アール知能映像通信研究所、日本シリコグラフィクス(株)  
伊藤忠テクノサイエンス(株)、(株)富士通研究所

観覧料 大人 790(530)円、大学・高校生 450(250)円、中学・小学生 250(130)円(内は20名以上の団体料)

**柳幸典**——1959年、福岡に生まれる。学生時代に絵画を学ぶが、卒業後、自己の表現を模索するパフォーマンスやインスタレーションを繰り返す。88年には渡米。外から眺めた日本などを題材にした記号的作品で国際的に知られるようになる。

**和田千秋**——1957年、大分に生まれる。脳に障害をもつ子の親となって、作家活動を数年間中断した後に作り始めたのは、「障害の様々な問題を美術家として受け止め、それを美術というかたちで社会に送り返そう」とするものだった。

**土佐尚子**——1961年、福岡に生まれる。CGによる画像と実写映像や写真を合成したビデオ作品から、人間とコミュニケーションできるコンピュータ上のキャラクター作りへ。意識下の世界を今日のテクノロジーによって視覚化する。

**アイデアル・コピー**——現代美術の世界を背景に活動するクリエイティブ・プロジェクトとして1988年に結成された不特定多数の集団。現代社会の創作物である様々な「社会のシステム」をターゲットに既存のアートの枠組みを越えた活動を展開している。

**大森裕美子**——1962年、東京に生まれる。珊瑚や種子など様々な物質を箱に納めた標本箱のような作品と、生ゴムやブリキ板に赤チンを塗ったもののインスタレーション。素材との出会いを大切にしながら、自分のまなざしを確認していく。

**三輪美津子**——1958年、名古屋に生まれる。絵画を中心に、見た目の異なる多種多様な作品を、公の場での発表を意図せずに、十数年間つくり続けている。明確なコンセプトと方法によって、美術作品の成立基盤とさりげなく戯れる。

**岡崎乾二郎**——1955年、東京に生まれる。彫刻、絵画のほか、8mm映画やイラストレーション、アート・プロジェクトの企画、美術評論など多彩な活動を繰り広げる。その仕事は、強固なまでに意識化されたコンセプトに基づいている。

Yukinori Yanagi 2.5

Chiaki Wada

Naoko Tosa

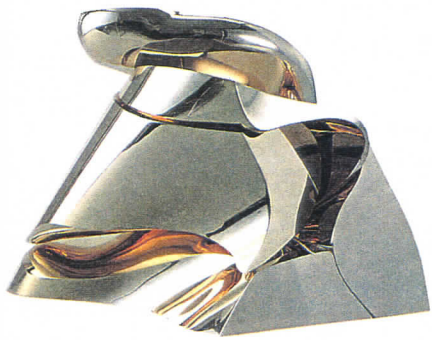
Ideal Copy

Yumiko Ohmori 1.5

Mitsuko Miwa

Kenjiro Okazaki





岡崎乾二郎、燃えさかるぼろ布をやつぎばやに背中に何回も打ちつけられても、手は凍えて、ほとんど指を動かすこともできない。あるいは、長いあいだ何もしていないために体が物質に吸収されていたのか。皮膚は紫色に腫れ上がり、その場所から離れない。、1994年

# 美術家の冒険

## 多面化する表現と手法

ideal copy

1/3

OF THE TIMES

PROTEAN ARTISTS

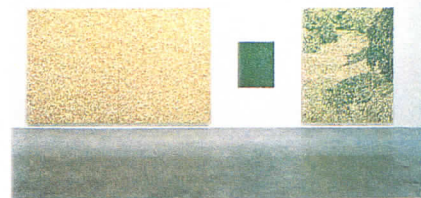
今日、美術作品は驚くべき広がりを見せています。たとえば、絵画、彫刻など、昔からのジャンルでは、たえず新しい試みが繰り返され、その枠組みが見直されてきました。近年では、写真や映像による表現が急速に進展し、美術において重要な位置を占めてきています。そしてそれと併せて、作品をつくる制作者自身も多様化しています。画家、彫刻家など制作者をさす従来の呼び方ではしっくりこない人が、優れた活動をしているという事実、制作者の変化が象徴的かつ端的に表れています。

この展覧会では、そうした制作者のうち、表現手段や作風を頻繁に変えたり、同時並行的に用いたりする人々を取り上げます。もちろん、複数の表現手段を持っていたり、作風を変えることそれ自体は現代の制作者に限ったことではありません。たとえば、作風を変えることは、時の流れにしたがって、制作者ならば誰にでも起こることでした。しかし今日の多面的な制作者は、昔のそれとは異なっています。あらゆる選択の自由を背景に、一見、捉らえどころがないようである、しなやかな人々たちです。

この展覧会は、そうした「美術家」とも呼ぶしかないような制作者6名と1グループの多面的な活動を紹介します。その活動の根底にあるものを探ってみようという試みです。



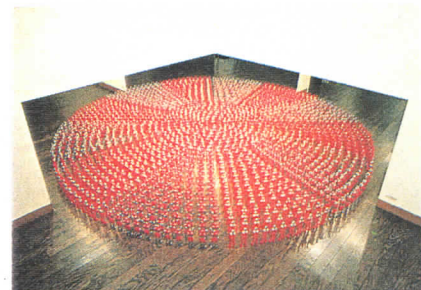
土佐尚子, MIC, 1995年



三輪美津子, Landscape, 1985年



大森裕美子, Gartenbeet, 1996年



柳幸典, バンザイ・コーナー, 1991年

- 講演会 \* いずれも午後2時より、当館講堂
- 9月14日(土) ……「アイデアル・コピーの仕事」  
講師：熊倉敬聡(慶応義塾大学助教授)
- 9月28日(土) ……「デジタル・ヌーベルバーグ」  
講師：土佐尚子
- 10月26日(土) ……「自作を語る」  
講師：岡崎乾二郎

### 今後の展覧会

- 1996年11月25日(月)―1997年1月26日(日) ……国際交流展「スーザン・ローゼンバーグ―ドローイングと版画を中心に」
- 1996年12月5日(木)―1997年1月26日(日) ……特別展「90年代の韓国美術から―等身大の物語」

### 当館への交通について

#### バス

- JR茨木駅より  
エキスポランド方面行近鉄バス又は阪急バス約10分
- 阪急茨木駅より  
エキスポランド方面行近鉄バス又は阪急バス約15分
- 北大阪急行千里中央駅より  
エキスポランド方面行阪急バス約15分
- ※ いずれも日本庭園前下車徒歩約15分

#### モノレール

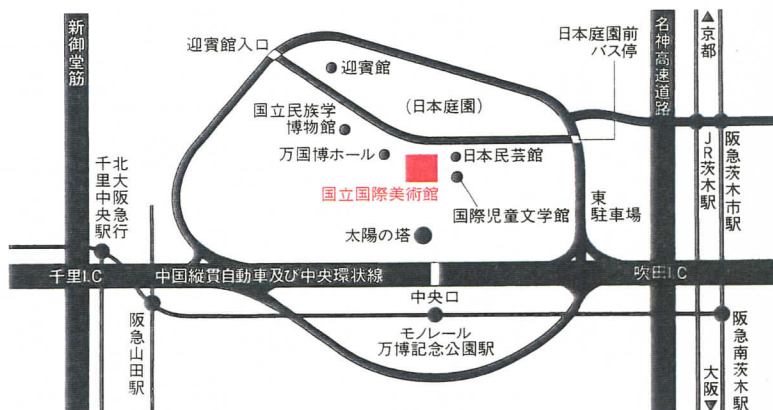
万博記念公園駅下車徒歩約15分(ただし、自然文化園の入園料が必要です)

#### 自家用車

中央環状線又は国道171号線より万博公園外周道路に入り、万博公園東駐車場(有料)をご利用の上ご来館ください(徒歩約10分)

#### タクシー

万博公園外周道路迎賓館入口より入り、国立国際美術館前下車



## 国立国際美術館